

巨大な盛り土解消策は

答 全量撤去に向けて鋭意取り組んでいきます

国、県の支援策を活用すべきでは

問 現場への進入路農地法違反の現状が、令和3年5月に県が現地調査に入っただけで、その後の進展が確認できていません。県とはどのように情報交換しているかお示し下さい。

産業経済課長

町農業委員会としては既にいち早く原因者に対して勧告を行っております。今後は県が勧告、命令を出す



農地法違反の進入路

ということになります。本件につきましては他法令との関連が深いため、その整理が必要で、県では状況を確認しつつ、現状回復を求める時期を検討していると聞いています。

問 現地には大量にフレコンバッグが野積みされています。千葉県では本年4月1日、千葉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例、通称金属スクラップヤード等規制条例を制定、施行しました。この条例は金属及びプラスチック保管などが該当し、既存事業者に対してはも許可の取得を義務づけています。町の対応をお示し下さい。

生活環境課長

これは県条例です。これは県条例です。事業者が県に事業計画書を提出し操業が許可されるかどうか、経過措置が1年間設けられていますので来年以降認可されるかどうか判断されることとなります。県でも屋外に放置されているので適正な管理を行うよう指導を行っていると聞いています。

問 令和3年7月に発生した熱海市の大規模な土石流被害を受けて

お客様目線で、時代に合った経営を

答 選ばれる駅となるよう改善努力します

道の駅多古について

問 施設としての運営目的は。

町長

道の駅は農業振興施設という位置づけですが、販売だけでなくとどまらず地域の活性化、情報発信、地域交流を促進する重要な役割を持っていきます。今や新鮮な野菜を買い求めて町外からもお客様を迎えるランドマーク的存在であり、本町の農畜産物や観光の魅力を伝える情報発信基地でもあります。

問 多古と出品者の相互関係は。

産業経済課長

道の駅設立当初から直売に関する運営規定が定められており、施設の運営上、相互の責任範囲・道の駅の秩序・品位を守るために必要なもの

問 生鮮野菜の売上げ落ち込みなど、一昨年末まで赤字経営だった要因はお客様離れだと思いが、どのような改善策をとったのか。

産業経済課長

お客様に選ばれた商品・道の駅となるよう、出品のルールや出品物



キッチンTAKO、人気のおにぎり定食は集客要素のひとつ

に対しての新基準が定められ品質向上にむかっています。

問

多古と出品者協議会の経営と営業に関する意識の違いが感じられるが改善の策は講じているのか。

産業経済課長

総会、役員会のほかに、おおよそ2カ月に一度、出品者協議会の各部長と多古の社長・社員、町の職員も加わって会議を行っています。相互理解に向けた話し合いを行い、それを正しく伝える手段の確立が重要であると思っています。

菅澤 博隆 議員

所要時間 77分



けて、国は、令和4年5月26日、宅地造成及び特定盛り土等規制法の法改正を行い、全国一律の基準で規制するように決定しました。具体的には県がそれぞれのエリアで規制区域を指定するものであり、多古町にとっては町全域が指定されることが最も重要ですが、町の対応策をお示しください。

空港まづくり課長

町全域を規制区域に指定されることについて、町は県に対し意見などで回答しています。実は県の方でもまだ、どの部署がこれを扱うか検討中の状態ですから相談できる体制になりましたら、課題解決に向けてお願いしていきたく考えています。

ジャンボタニシ駆除対策に町の支援を

問

ジャンボタニシによる稲苗の食害は、多古町でも近年被害

佐藤 幸三 議員

所要時間 58分



問 出品者協議会から町に、多古の取締役人事及び経営体制変更や輸出事業の中止に関する要望書が署名を添えて提出されたとのことだが、町はどのようにとらえているか。

産業経済課長

出品者の中でも相違する意見があるのも事実です。そもその勘違い、誤解、ボタンの掛け違いがあるように感じています。出品者ごとの本音を聞くなどして、さらに出品者同士でも話し合っていたことが解決を目指していく道筋になると考えています。建設的な意見を両者で話し合い、改善策を模索していくのが肝要ではないかと思えます。また、署名活動が事実と違った情報の下に行われたのであれば、会社や社長の信用を大きく損傷することにならないか心配です。

が拡大しています。殺虫剤による防除や浅水管理、冬場の耕耘など、対策はいろいろありますが捕獲罠の設置も効果を発揮しています。多古高校生生の皆さんが県農業大学校とタイアップして捕獲トラップの制作をし、成果を上げています。多古高校の了解を得られれば、生徒さんに講師になっていただいで、生産者の皆さんに罠を自作してもらい、捕獲数を増やせば有効だと思います。そこに町の支援があればと思います。方針をお示し下さい。

産業経済課長

多古高校生が講師になって地域にそういったものを示していくことは非常にすばらしい取り組みになると思います。多古高校も農業連絡協議会の一員でもありますので、コミュニケーションとしての地域貢献ということであれば、そこに農業関連の補助金を交付するということはやぶさかではないと思います。



多古高校生生徒考案の捕獲トラップ

支部単独では維持管理が困難

問 常磐川は現在、排水路としての位置づけだが、県の河川指定はできないか。

町長

常磐川は両総土地改良区の下部組織である両総土地改良区管理委員会常務支部が維持管理をしています。支部からは両総土地改良区に対し、改修の要望がされているが、多額の費用がかかるため着手できないと聞いています。2級河川として県の管理とするのは、かなり難しいと聞いていますが、まずは、両総土地改良区と県との話し合いが円滑に進むよう関係機関に働きかけていきます。

その他の質問事項

- 旧常磐小外周道路法面の草刈り等の維持管理について
- 株式会社HAMILLUとの施設賃貸条件について



稲作に必要な不可欠な常磐川